

2026年4月1日
コアレックス信栄株式会社

静岡市 × コアレックスが挑む「紙ごみ子ども園リサイクルチャレンジ」

2 か月で 1.7 トン回収の実績を踏まえ、市内 28 か所の子ども園で本格始動
～家庭の「紙ごみ」がトイレトペーパーへ。子どもたちの未来と環境を守る共同プロジェクト～

静岡市とコアレックス信栄株式会社(以下、コアレックス)は、持続可能な循環型社会の実現に向け、市内の子ども園を拠点とした古紙回収・還元プロジェクト「子ども園リサイクルチャレンジ」を開始いたします。本プロジェクトは、家庭で「燃えるごみ」として捨てられていたレシートや窓付き封筒などを含む紙ごみ(雑がみ類)を、子ども園を通じて回収し、再生したトイレトペーパーとして園に還元する“資源循環”の取り組みです。先行して実施した 10 園での実証実験では、2 か月間で 1,720kg もの資源回収に成功しました。この成果を踏まえ、4 月より実施施設を 28 園へ大幅に拡大し、「令和版ちり紙交換」として本格始動いたします。



■ 実証実験の成功:1,720kg の「ごみ」を「資源」へ

本格稼働に先立ち、2025年12月から2026年1月にかけて市内10の子ども園で実施した実証実験では、大きな成果が得られました。

- 回収実績: 2ヶ月間で、計 1,720kg の紙ごみを回収。
- 地域還元: 回収された資源はリサイクルされ、各園に計 172 ロールのトイレトペーパーとして還元されました。
- 展開: 家庭に眠る紙ごみを確実に資源化できることが証明され、この度、参加施設を 28 園へと大幅に拡大し、毎月継続的なインフラとして運用を開始します。

■ プロジェクトの背景と目的:静岡から「燃やす」を減らす取り組みへ

毎日たまる家庭の紙ごみが、子ども園や子どもたちのために直結する仕組みです。

- 利便性と継続性: 静岡市内 28 施設のネットワークにより、市民が日常的に、かつ継続的に資源を預けられる体制を構築しました。
- 高度リサイクル技術の活用: コアレックスの技術により、金具付きバインダーや窓付き封筒、レシートといった、通常のリサイクルでは困難な「難再生古紙」も焼却することなく再

生可能です。

■ 毎月巡る「令和版ちり紙交換」の仕組み

この取り組みは、毎月のサイクルで実施されます。

1. ためる：専用紙袋に、日々の紙ごみを集めます。
2. 預ける：在園児の家庭が、毎月指定の日時に、各家庭から園へ持参します。
3. 交換する：紙袋 2 袋につき、トイレットペーパー1 個をその場で提供します。
4. 再生する：毎月コアレックスが回収し、再び「こども園の備品」として納品する完全循環ループを実現します。

■ むすびに

地球にいいこと。それは、毎日の暮らしの中にある、小さな一歩から始まります。紙袋 2 袋がトイレットペーパー1個に変わる。そのシンプルで温かな循環が、やがて地球を救う大きな力になると信じています。私たちはこれからも、こどもたちの笑顔と健やかな環境を支え続けてまいります。現地取材や、活動風景の撮影については、随時調整させていただきますのでお気軽にお申し付けください。

■ 実施概要

- 参加拠点数：静岡市内 28 こども園
- 回収日：毎週金曜日にエリアグループ毎に回収
- 主催：静岡市、コアレックス信栄株式会社

【本件に関するお問い合わせ先】

コアレックス信栄株式会社〈紙ごみこども園リサイクルチャレンジ事務局〉 滝川

kamitaio.corelex@gmail.com